

かな・かぶら ぐるぐるの旅 周遊マップ



1 道の駅らん藤岡	16.7km	30分	2 道の駅上州おにし	21.5km	35分	3 道の駅万葉の里	14.0km	20分	4 道の駅上野	20.0km	35分
5 道の駅甘楽	19.0km	35分	6 道の駅しもにた	14.0km	20分	7 道の駅みようぎ	14.0km	20分	8 道の駅オアシスなんもく	9.0km	15分

【ポイント間距離と目上走行時間】 1周約131.2km 約3時間45分

甘楽富岡観光情報

かぶら・ぶらぶら街道

甘楽富岡地域(富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町)をぶらぶらするための観光・イベント情報などを発信中!

1 道の駅らん藤岡

高速道路(上信越自動車道)上り藤岡PA)からもアクセスできる道の駅。「農産物直売所」「地域食料センター」「花の交流館」各種土産が揃う「観光物産館」飲食店や物販店が並び「グルメプラザ」ミニ遊園地、噴水のあるふれあい広場などバラエティに富んだ施設があります。また、小さなお子様連れにも安心して利用いただけるよう「ベビールーム(授乳室)」もあります。

管理事務所: TEL 0274-24-8220 FAX 0274-24-8225
観光案内所: TEL 0274-50-9933 FAX 0274-50-9934

藤岡市中1131-8 管理事務所/9:00~17:30、藤岡市観光案内所/9:30~17:00、その他店舗により異なる ※年中無休(店舗により定休日あり)

2 道の駅上州おにし

自然豊かな山々に囲まれたレトロな雰囲気が漂う道の駅です。食堂「暖炉亭」では、ダムカレーや手打蕎麦などのメニューを味わえます。売店には地元産の名産品が豊富に並んでいます。

TEL 0274-52-3300 FAX 0274-52-2762
田原市鏡原1089-2 9:00~17:00(食堂/平日11:00~14:00、休日11:00~15:00)
※毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

3 道の駅万葉の里

農作物を中心に加工特産品も多く並んでいます。土産の定番の味噌に、特産アワバタ豆を使った「万葉豆腐」が人気。また、テラスでは軽食をとりながら川の景色を楽しむことができます。

TEL 0274-20-5555 FAX 0274-20-5556
伊多野郡神流町黒田742-1 10:00~16:30 ※毎週火曜日、年末年始

4 道の駅上野

新緑や紅葉など、四季の移ろいを感じられる山間の駅です。特産品の「十石みそ」や「いのぶた」をはじめ、地元の農産物や木工作品が並んでいます。十石みそを使ったソフトクリームは当駅限定の人気商品です。

TEL 0274-59-2665 FAX 0274-59-2106
伊多野郡上野村勝山甲131 9:00~18:00、食堂/11:00~15:00 ※売店/年末年始、食堂/毎週木曜日

5 道の駅オアシスなんもく

そばには清流南川が流れ、美しい自然に囲まれています。南牧村で採れた新鮮野菜、地元おぢいちゃんの手作り蕎麦、桐石や地元の銘菓・手芸品・工芸品が取り揃えられています。軽食コーナーもあります。

TEL & FAX 0274-87-3350
甘楽郡南牧村千原3-1 9:00~17:00 ※火曜日(祭祭日の場合は翌日)、年末年始

かな・かぶら おすすめ施設紹介

9 県立自然史博物館

地球の誕生から生命進化の歴史、群馬の豊かな自然を紹介。ティラノサウルスの動く実物大模型や全長15mのマラサウルスの全身骨格標本、群馬の豊かな自然を再現したブナ林のジオラマなど迫力満点。「新たな発見」に出会えること間違いなしです。

TEL 0274-60-1200
富岡市上黒岩1674-1 9:30~17:00(入館は16:30まで) ※毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始 ※8月は無休、6月・12月・2月にメンテナンス等休館あり 入館料:一般510円、高校・大学生300円、中学生以下は無料 ※団体割引あり ※企画展開催中は特別料金になります。

11 国指定名勝 楽山園

楽山園は、小幡藩二万石の藩邸に付属する県内唯一の大名庭園です。織田氏により築庭され、西や南の山々を借景とした広がりのある庭です。江戸時代と変わらぬ景色の中で、心やすらぐ静かな時をお過ごしください。

TEL 兼 FAX 0274-74-4795
甘楽郡甘楽町小幡648-2 3~10月/9:00~17:00(入館は16:30まで)、11~2月/9:00~16:00(入館は15:30まで) ※年末年始(12月29日~1月1日) 観覧料:高校生以上300円(団体20人以上250円)、中学生以下無料

13 妙義ふれあいプラザ「妙義温泉」もみじの湯

妙義山を背に眼下には関東平野が広がり、素晴らしい景観をお楽しみいただける日帰り温泉施設です。露天風呂やサウナ施設、食事処「御山亭」も併設されており、お食事のみの利用も大歓迎です。

TEL 0274-60-7600 FAX 0274-60-7601 MAP C-1
富岡市妙義町妙義1-1 10:00~20:00(12月~2月は19:00まで、入館は閉館30分前まで) 9:00~17:00(月曜日が祝日のときはその翌日)、年末、臨時休館あり 入浴料(3時間まで):大人620円(200円)、小人、障害者・高齢者400円(100円) ※1内は1時間毎の延長料金

15 しおじの湯

しおじの湯にはメタケイ酸が豊富に含まれており、別名「美人の湯」といわれています。また、源泉は源泉可能で美容効果が期待されます。神流川の自然を眺めながらゆったりとした時間をお過ごしください。

TEL 0274-59-3955 FAX 0274-59-3977 MAP B-5
伊多野郡上野村植原3487-2 11:00~20:00(季節により変わる場合あり) ※毎週火曜日(祝祭日の場合はその翌日) 入浴料:大人600円(各種割引あり)、小人(3歳~12歳未満)400円

世界遺産

とみおかせいじょう きぬさんぎょういさんぐん
富岡製糸場と絹産業遺産群

長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本との間の「技術交流」を主題とした近代の絹産業に関する遺産。日本が開発した絹の大量生産技術は、かつて一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広め、その生活や文化をさらに豊かなものにやりました。

公式HP <https://worldheritage.pref.gunma.jp/ja/>

<h3>A 富岡製糸場</h3> <p>明治5年(1872)に明治政府が設立した官営の横綱器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、製糸技術の最先端として設立された養蚕教育機関高山社、その技術を全国及び海外に広め、清温舎は全国標準の養蚕法となりました。明治24年(1891)に建てられた母屋養蚕室は「清温舎」に最適な構造で、多くの実習生が学びました。高山社跡200m手前にあるガイダンス施設「高山社情報館」にもぜひお立ち寄りください。</p> <p>TEL 0274-67-0075 FAX 0274-67-0104 (富岡製糸場総合案内所) 富岡市富岡1-1 9:00~17:00(入館は16:30まで) ※12/29~12/31(但し、点検整備等で臨時休業となる場合があります) ※見学料:大人1,000円、高校・大学生250円(要学生証)、小・中学生150円 ※団体(20名以上)は要予約、団体割引あり。</p>	<h3>B 高山社跡</h3> <p>明治16年(1883)、高山長五郎は、通風と湿度管理を調和させた「清温舎」という蚕の飼育法を確立しました。翌年、この地に設立された養蚕教育機関高山社は、その技術を全国及び海外に広め、清温舎は全国標準の養蚕法となりました。明治24年(1891)に建てられた母屋養蚕室は「清温舎」に最適な構造で、多くの実習生が学びました。高山社跡200m手前にあるガイダンス施設「高山社情報館」にもぜひお立ち寄りください。</p> <p>TEL 0274-23-5977 FAX 0274-22-6999 (群馬県教育委員会文化財保護課) 富岡市富岡1-1 9:00~17:00(入館は16:30まで) ※12/29~12/31(但し、点検整備等で臨時休業となる場合があります) ※見学料:大人1,000円、高校・大学生250円(要学生証)、小・中学生150円 ※団体(20名以上)は要予約、団体割引あり。</p>	<h3>C 荒船風穴</h3> <p>明治38年(1905)から大正3年(1914)頃にかけて造られた養蚕(蚕の卵)の貯蔵所。若くは隙間から吹き出す天然の冷風を利用して、当時1回だった養蚕を複数回可能にした。3基の風穴(貯蔵庫)の貯蔵庫は国内最大規模で、取引先は全国43道府県をはじめ、朝鮮半島にも及びました。「養蚕新論」「続養蚕新論」によって各地に広まり、近代養蚕農家の原型になりました。</p> <p>TEL 0274-82-5345 (下仁田町歴史館) FAX 0274-67-7776 (下仁田町歴史館) 富岡市下仁田町南牧甲10690-2外 9:30~16:00 ※冬季閉鎖期間(12月~3月) 見学料:大人500円、高校生以下無料 ※団体は要予約</p>	<h3>D 田島弥平旧宅</h3> <p>優良な養蚕(蚕の卵)を生産するのに適した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平の旧宅で、主屋は文久3年(1863)に建てられた住居兼養蚕室です。間口約25m、奥行約9mの瓦葺き総2階建てで、初めて屋根に換気用のやぐら(越屋根)が付けられました。この構造は、弥平が「清涼育」普及のために著した「養蚕新論」「続養蚕新論」によって各地に広まり、近代養蚕農家の原型になりました。</p> <p>TEL 0270-75-6672 (伊勢崎市文化財保護課) TEL 0270-61-5924 (田島弥平旧宅案内所) 伊勢崎市境島村2243 ※庭まで見学可、建物内は立入禁止 ※団体は要予約</p>
---	--	---	---